

〔優 秀 賞〕 散薬調剤ロボット「DimeRo (ディメロ)」



代表取締役
湯山 裕之氏

株式会社湯山製作所

〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-3-1

TEL. 06 (6332) 2556

<http://www.yuyama.co.jp/>



調剤薬局や院内調剤室において薬剤師が行う粉薬（散薬）の調剤を全自動で行うロボットを業界に先駆けて開発した。散薬が入った筒状容器を装置内に最大30本収納し、各散薬容器から払い出す。ロボットアームを搭載し、散薬容器の各部への搬送および清掃を行う。散薬容器から払い出された複数種類の散薬を患者の1回服用量毎に均等に分割して包装する分包作業を自動で行える。

散薬容器にはRFID（無線識別）タグを貼付しており、装置内の位置情報や薬品残量、特性などを把握できる。天秤を接合した振動機構に電磁石で散薬容器を設置、天秤と振動体が一体となっており、散薬容器と天秤も合わせたフィーダー機構全体を振動させる。天秤秤量値と振動制御により、散薬容器から回転するドーナツ状の円盤にこぼれ落ちる量（流量）を制御し、分割機構へ均等に配分する。

従来の分包装置は、調合した散薬を分割し包装する部分のみを自動化。薬剤師は手作業で散薬を取り出し、秤量、調合し、分包機で分割、一包化を行っていた。完全自動化により、薬剤の取り違い防止、調合精度の向上、作業時間の短縮などの効果がある。煩雑な業務に追われる薬剤師の負担を大幅に減らすことができ、最近特に求められる服薬指導や在宅医療などの患者と向き合う業務に充てる時間を取りやすくなる。

発売以来、全国の調剤薬局、病院に210台以上を納入、高い評価を得ている。さらに普及を進めるため、省スペースタイプも投入した。